

一房のぶどう



第22号

平成23年6月1日 編集・発行／あきる野市教育委員会
〒197-0814 あきる野市二宮350 ☎042(558)1111(代)

平成23年度から25年度までの3年間を計画期間として策定した「あきる野市教育基本計画」では、新たに「生涯学習活動の支援」及び「地域ぐるみの青少年の健全育成の推進」を「重点施策」に加え、生涯学習社会の実現に向けた取組を推進するとともに地域社会が一体となった教育活動を推進していきます。

生涯学習活動の支援

学習機会の提供と、生涯学習の成果を生かした市民との協働による生涯学習事業を推進します。



寿大学（公民館事業）
高齢者の知識向上・社会参加・相互交流を促進します

生涯学習社会の実現を目指して



生涯学習コーディネーター養成講座
生涯学習に関する調整役を担う指導者を育成します

家庭・学校・地域の連携・協力を強化して



親子観劇会（家庭の日推進事業）
親子の絆を深め、明るい家庭づくりを応援します

地域ぐるみの青少年の健全育成の推進

家庭・学校・地域・関係機関が連携し、協力しながら青少年の健全育成を推進します。



青少年善行表彰
小さな親切や善行を行っている青少年を表彰します

あきる野市からは、西中学校の増田美奈子教諭が宮城県
の涌谷町立涌谷中学校に派遣
されています。
派遣に先立ち、宮林教育長
は、「これまでの経験を生か
して現地の子供たちのため
にがんばってください。そし
て、現地とあきる野市をつな
ぐ橋渡し役としても活躍を期
待しています。」と増田教諭
を激励しました。
増田教諭は、「被災県に対
して何かできないかとずっと
考えていたので、派遣の公募
はよい機会だと考えました。
全力でがんばってまいります。
」と応え、決意を新たに
していました。

東日本大震災 被災県へ教員を派遣



左から 山形 西中学校長、増田教諭、宮林教育長

東京都教育委員会は、東日本大震災被災県への公立学校教員の派遣を公募し、先月、第一陣として、宮城県の公立学校に教員68名を派遣しました。



平成23年度に取り組む国・東京都の指定事業

～教育の質の向上を図るために～

あきる野市教育委員会では、国や東京都の指定事業やモデル事業の指定を積極的に受け、教育の質のさらなる向上を図ります。今年度新たに取り組む事業、また、継続して取り組んでいく指定事業等をご紹介します。

新規事業

学校と家庭の連携推進事業

各学校において、いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待など生活指導上の課題に対応していくためには、地域社会も含めて、学校と家庭が連携を密に図っていくことが重要です。

本事業では、学校に家庭と子供の支援員やスーパーバイザーを配置し、様々な課題に対応して地域全体で取り組む教育体制及び地域や学校の実態に即した取組を充実させていきます。

指定校：屋城小学校 秋多中学校

継続事業

	事業名	主な取組	指定校等
国 の 事 業	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業	○スクールガードリーダーによる巡回指導 ○学校ボランティアによる活動 ○あきる野市学校安全推進会議	市立小学校12校
	特別支援教育総合推進事業	○発達障害を含む障害のある子供の乳幼児期から成人期までの一貫した支援に向けての関係機関との連携 ○相談支援ファイルの作成と活用	市内全域
	理科支援員等配置事業	○外部人材の活用 ○授業における観察・実験活動の充実 ○教員の資質向上	南秋留小学校 一の谷小学校
	学校支援地域本部事業	○運営協議会の開催 ○学校支援地域本部の設置	一の谷小学校 屋城小学校 多西小学校
	放課後子ども教室推進事業	放課後等に子供たちの安全で健やかな活動場所を確保するため、校舎や体育館、校庭を利用し、放課後子ども教室を実施する。	東秋留小学校 多西小学校 草花小学校 戸倉小学校 小宮小学校
東 京 都 の 事 業	スクールカウンセラー活用事業における小学校へのスクールカウンセラー配置 中学校へのスクールカウンセラー配置	○いじめや不登校等の未然防止、改善及び解決 ○校内教育相談体制充実	前田小学校 増戸小学校 多西小学校 南秋留小学校 草花小学校 市立中学校6校
	スポーツ教育推進校	○スポーツ教育の展開 ○非常勤講師の活用	前田小学校 秋多中学校
	理科教育指導力の向上	○理科教育の指導力及び教材開発に優れたコアサイエンス・ティーチャーの育成 ○コアサイエンス・ティーチャーを活用した小学校教員の理科教育の指導力の向上	東秋留小学校
	東京都教育委員会OJT推進指定モデル校事業	東京都が推進するOJTについて実践的に取り組み、東京都公立学校における教員の資質・能力の向上を推進する。	前田小学校

学校紹介

小学校

東秋留小学校

教育目標

新学習指導要領の趣旨をふまえて「人が育ち 人が輝く あきる野の教育」の実現をめざし、本校がこれまで大切にしてきた「いいな」体験を推進することにより、人間尊重の精神をもとにして、豊かな人間性と未来を拓く学力をもった児童を育てる。
豊かな学び
すこやかな体
ひろい心



校長 岡部 廣
副校長 玉森 正一

経営方針

1. 児童にとって健康で楽しく生きがいのある学校（学級）づくりの推進
2. よくわかる楽しい授業の推進
3. 学校・地域社会・家庭が心と手をむすび、連携を密にした教育の推進

本校の特色

心身ともに健康な児童の育成
豊かな自然と伝統・文化と地域人材を生かした「地域に根ざした教育」の推進
総合的な特別支援教育の推進に基づく「通常学級」と「ひまわり学級」との交流および障害児理解教育の充実

児童数 510名 普通学級 16クラス
ひまわり学級 3クラス

確かな学力や基本的な生活習慣を身につけるために教師の指導力を高めます。また、学校と地域社会と家庭が密接に行動連携をとり、特別支援教育を進めています。

西秋留小学校

人間尊重の精神を基調とし、個性豊かで、たくましく生きる、心身ともに調和のとれた児童の育成を目指し、次の教育目標を設定する。

- 心ゆたかな、たくましい子ども
 - 思いやりのある心
 - 考える力
 - じょうぶな体
- 学校教育全ての中で、心の教育の推進
基礎的・基本的な学力の定着と思考力の育成
基本的な生活習慣の確立と体力の向上



校長 榎本 茂
副校長 坂本 満弘

秋川の清流にのみ、風光明媚な地にある。保護者の教育に対する期待と関心が高く、地域も、自分たちの学校という意識が強く、協力を惜しまない。地域活動も活発で、学校・PTA・地域の連携が密に保たれ、豊かな体験活動の充実を図っている。



餅つき感謝祭

【こんな学校を目指します】

- 子どもたちが育ち輝く、心身ともに元気な学校
- 1 「思いやりのある心」…… 他人の痛みがわかる子に育てる
教師と児童のけじめをつける…教師は「さん」「くん」をつけ、児童は敬語・丁寧語を使う 集団いじめは「しない」「させない」「みのがさない」 きたないことは禁止、丁寧な言い方を教える 真剣清掃古いと汚いは別、清掃は教科と同じレベルで指導する 児童の忘れものをゼロにする指導の工夫
 - 2 「考える力」…… 考えるもとなることを続けて行う
よく読み、よく書く子 声を出して読む。名文を暗唱する。全文視写する 活字の本（物語り）を根気よく読めるようになる 45分授業の実施。教師の話は短く、はじめとおわりを確実に45分みっちり指導、つまみ禁止「です」「ます」奨励
 - 3 「じょうぶな体」……
じょうぶな体になることを続けて行う
「よく走る」ことの日常化 体育の授業は運動量を上げる（45分中半分以上は身体を動かす）
体育授業はランニングを必ず入れる 山のぼりの遠足をする 食育を通し偏食をなくす
- 【このことを達成するために「当たり前前」のことを丁寧に教える学校」をめざし、「当たり前前」のことを根気強く学ぶ子を「育てます】



マラソン大会

多西小学校

目指す学校の姿

「活力と魅力にあふれ、子供も教師も輝く多西小学校」
子供が育ち、地域に愛される学校を目指します



校長 高橋 志夫
副校長 吉岡 正司

教育目標

開校138年の歴史と伝統を誇りに、以下の子供の姿の育成に努めます
・心豊かで思いやりのある子
・ねばり強くやりぬく子
・明るく元気な子

教育活動の重点

あきる野市の12本の重点施策の遂行を意識しながら、「かかわり力の育成」を重点にした教育活動を展開していきます。

チャレンジ教育の推進

学習・生活規律の確立
基礎・基本の定着
読み・書き・算・基本的生活習慣
意図的・計画的・創造的な授業の推進
学び合い学習の質的向上
グループ学習の活用
課題解決的な学習や体験的に学ぶ学習を重視して、思考・判断・表現力を育てる
年間を通し、学校全体で体力の向上に努める

学年・学級・専科経営の充実

一人一人のよさを生かす
学び合い磨き合い高め合う集団をつくる
子供同士や子供とのよい関係構築
知性や感性をはくむ環境づくり
掲示や物の配置等による視覚効果
意欲や豊かな心を醸成する風土づくり
基礎学力を向上させる日常的な取組
朝学習や家庭学習の習慣化
読書活動の推進

かかわり力の育成

ハートフル教育の充実

いじめ不登校ゼロへの挑戦
組織的な学校運営（チームワークで育てる）
情報の共有 共通実践 報連相の徹底
基礎・基本を大事にした教育実践
規律と品格 基本的な学習・生活習慣
教育課程の工夫と確かな積み上げ
かかわり合いを大事にした教育活動
挑戦や主体的な学びを重視した教育活動
感謝・感動を生み出す教育活動
人権教育・特別支援教育の重視
個の尊重 やさしさを根付かせる

家庭・地域との連携強化

おとなが手本
家庭・地域と連携した
多西ハートフル教育の充実
基礎学力の定着や読書、体育・食育、環境・キャリア・情報教育の充実
安心・安全対策の充実
体験的に学ぶ教育活動の充実
積極的な授業公開・幼保小中連携の推進
特色ある教育
・地域伝統芸能の教材化・鼓笛隊の継承
・恵みの森の活用等

昨年度末に行いました東京都人権尊重教育推進校・研究発表会には大勢の方にご参加をいただき、誠にありがとうございました。この研究成果を基に、今年度は「ハートフル教育」（心の教育）の充実、さらに学力・体力向上を目指した「チャレンジ教育」を推進して参ります。

屋城小学校

本校では、教育の目標の「自分で考える子・思いやりのある子・たくましい子」を合い言葉に、全教職員一丸となって、人権尊重の精神のもと、心身ともに健康で、豊かな児童の育成を目指します。



校長 森 真二
副校長 福原 憲生

教育方針

- (1) 学習意欲を高めて、確かな学力を定着させる。
- (2) 児童の心に寄り添う生活指導で、安全で安心な環境を充実させる。
- (3) 特別支援教育の推進で、だれもが居心地のよい学校をつくる。
- (4) 自然や地域文化を生かし、特色ある教育活動を充実させる。
- (5) 教職員相互・保護者・地域・諸団体・ボランティアと連携し、協働する学校にする。

新しい学習指導要領に対応して、一人一人の子供に合った学習指導を行っていきます。そのために、特別支援教育の理念を踏まえ、だれにでも分かりやすい授業を行い、授業時間を確保して、反復学習や習ったことを使って考える学習活動を行っていきます。
また、すべての子供にとって、「安全で安心して学べる地域の学校」を目指す屋城小は、きまりを守ることが、思いやりの心を育てる基本であると考え、一人一人にきまりを守るこの大切さを指導していきます。学校と地域の方々と同じ歩調で子供たちを健全に育てていくのが屋城小学校です。ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



一の谷小学校

教育目標

- ・よく聞いてよく考える
- ・やさしい心をもつ
- ・最後までがんばりぬく

経営方針

教育活動全体を通して人権教育を推進し、人権に対する感覚や実践力を育てる。
基礎的・基本的な内容の確かな定着を図り、学ぶ意欲と自信を育てる。
特別な支援を必要としている児童の教育的ニーズに応じた指導を推進する。



校長 平田 和孝
副校長 木下 美彦

自ら学び考え解決する力や表現力を育み、主体的に学ぶ力を育てる。
地域の様々な人や自然や文化とのかかわりを通した学びを重視し、豊かに生きる力を育てる。
心身の健康の保持増進や安全に対する意識を高めるために、「食」に関する指導や健康・安全指導を計画的に推進する。
地域社会の一員としての自覚や広く国際社会に対応できる力を育てる。
学校を開き、家庭・地域との連携を充実させ、「共有」の充実を図る。

学校PR

国語と算数の少人数（20名程度）で指導。学力向上に力を入れています。伝統芸能の学習など一の谷小ならではの教育活動で、子どもたちが豊かに育っています。
安全・安心な学校作りを進めています。（メール送信、学校安全ボランティアの活用）
文部科学省の指定事業として「学校ボランティアの充実」に取り組んでいます。

一の谷小学校は、秋川を挟んでサマーランドと対面している、全館冷暖房完備の学校です。本年度で開校36年目を迎えます。開校当時、地域の方々に寄贈していただいた500本の木は、今でも地域の方々の手によって剪定が行われており、まさに、地域の学校に対する熱い思いに支えられている地域あつての学校といえます。特別支援学級「こすもす学級」は開校3年目になりました。現在の学級数は9学級、児童数は184名です。

国語と算数の2教科で少人数指導を実施しています。15分モジュール学習の取り組みとともに、基礎学力をつける指導の充実を図っています。あきる野学園との交流は12年目を迎えます。年3回の休日の学校公開。地域の経験豊かな方々から学ぶ指導体制の充実も図っています。

前田小学校

「命を大切にし、共に輝き生きていこう」

- ・たくましく……
しょうぶな体とねばり強い心を育てる
- ・なかよく……
人のよさ、自分のよさを生かしあう
- ・かしこく……
自ら学び、考える力を育てる



校長 竹川 博
副校長 鈴木 貴

『しょうぶな体・ねばり強い心』『地球に優しい環境作り』『一人一人に優しい学習環境作り』（体力・エコ・支援）を三本柱とし、スポーツ教育推進校として体力作りの推進、環境教育の推進、特別支援教育のさらなる充実を目指します。

前田小プラン

子どもが変わり、教師も変わる学校

『元気いっぱい』『あいさついっぱい』『やさしいいっぱい』『楽しさいっぱい』

前田小には、元気がいっぱいあります。楽しい授業が行われ、子どもたちが元気いっぱい学んでいます。休み時間は、広い校庭で元気いっぱい遊びます。子どもたちは、優しい心をもっています。友達や家族、先生、地球を大切にします。子どもたちがなかよく、元気よくあいさつします。

人と人のかかわりを大切に「共に学び共に育つ学校を！」を目指します。

2年間のスポーツ教育推進校等の取組が評価されて「子供の体力向上推進優秀校」の表彰を受けました。

戸倉小学校

<教育目標>

人権尊重の精神を基盤とし、特色ある教育を展開するなかで、確かな学力を身に付けさせるとともに、豊かな人間性、創造性を育て、心身とも健康で、自ら学び実践する児童の育成に当たる。
進んで学ぶ子
思いやりのある子
体を大切にする子



校長 工藤 淳一
副校長 宇治 昭秀



教育方針（特色ある教育活動）

- 小規模校の特色を生かした教育活動を推進する。
 - * どの児童にもきめ細かな指導を行い、確かな学力をつける。
 - * 徹底した「個に応じた指導」を行う中で、特別支援教育の充実を推進する。
 - * 地域の教育力を生かした活動を展開し、かかわりの中で豊かな感性を養う。
- 伝統ある愛鳥活動を継続し、発展させる
 - * 生活科、総合的な学習の時間を中心に野鳥と環境のかかわりを考えさせる。
 - * 愛鳥活動を発展させ、地域の環境保全について学ぶ環境教育を充実させる。
- 連携を重視した教育活動を推進する
 - * 地域、保護者との連携を密にする。
 - * 教育相談部・特別支援教育部を充実する。
 - * 安全・安心の取り組みを充実させる。
 - * 小宮小・五日市小・五日市中との連携を深める。

本校は名山城山を背に、美しい木々が季節を彩り、清らかな水が絶え間なく瀬音を響かせる、まさに日本の原風景の中に建つ。地域の人々は、「大人が手本のあきる野市」そのままに、豊かな人間愛と熱い人情にあふれ、常に子供たちを温かく見守り、学校とともに育てていこうという思いが強い。

27名の子供たちは、明るく素直で思いやりをもち、学習にも自ら進んで取り組むことができる。普段から全校児童と一緒に遊び、一緒に給食を食べ、生活を共にすることで、礼儀や社会性がしっかり身についている。

小宮小学校

<教育目標>

- 気づき考え実行する子
- 物事に対する関心、考えを深める態度、進んで取り組む態度の育み
- 仲良く助け合う子
- 思いやる心、きまりと約束を守る態度、郷土を愛し誇りに思う心の育み
- 明るく元気な子
- 健康的な習慣、丈夫な体、活動的な態度、互いに認め合う心の育み



校長 鈴木 唯史
副校長 坂口 悟朗

<目指す子ども像>

- こ…行動する子
- み…見つめる子
- や…やさしい子

『こ・み・や』の子

本校は、全校児童17名と東京都でいちばん児童数の少ない学校（島嶼を除く）ですが、そのことを感じさせないパワーを一人一人が発揮して教育活動に取り組んでいます。

小宮小学校は、平成24年度より五日市小学校と統合します。最後の一年間、小宮小学校ならではの教育活動に取り組み、いつまでも児童・保護者・地域の方々の心に小宮小学校での多くの充実した楽しい思い出が残ることをめざします。児童・保護者が安心して統合を迎えることができるよう、全教職員が一丸となって諸準備に取り組んでいきます。

南秋留小学校



校長 遠藤 桂一
副校長 平崎 一美

教育目標
 じゃぶな子
 考える子
 がんばる子
 心ゆたかな子

経営方針
 ・専門職としての誇りと自覚をもち、常に研修に励むとともに、組織体として対応します。
 ・ゆたかな人間性をもった子どもを育成します。
 ・子どもたちの規範意識を育てます。
 ・環境への関心を高め、環境の保護・維持・改善等に向けて働きかける実践力を養います。
 ・家庭・地域社会との連携を図り、地域に根ざした学校づくりを行います。

学校の特徴

学校南側に広がる加住丘陵と秋川、体育館横にはビオトープ、そんな恵まれた自然環境の中で、本校の子どもたちは、学校生活を送っています。米作り、畑作、むかし遊び、読み聞かせなど、保護者・地域の方々との連携・協力による生きた学習指導を進めています。また、授業規律と秩序ある生活行動を身につけ、子どもたちは、生き生きと学習に励んでいます。

さらに、校内委員会の充実を図るとともに、家庭・地域・関係諸機関との連携強化を図り、配慮を要する児童への支援だけでなく、一人一人に寄り添った指導を行います。

本校は、豊かな自然環境に恵まれ、児童数は624名と、市内でも一番規模の大きい学校です。確かな学力の定着を目指し、校内研究の充実を力を入れ、今年度は国語科の研究を進めています。また、30年来続いている米作りは、本校の伝統的な体験学習のひとつで、地域の方々から様々なことを学んでいます。市内でも最大級のどんど焼きに象徴されるように、PTAや地域行事と密着した教育も進めています。

増戸小学校



校長 遠藤 裕孝
副校長 栗原 郁夫

教育目標
 ・考える子ども 自ら課題を見つけ、よく考え、努力する子
 ・進んで行動する子ども 気づいたことや、やるべきことに向かって積極的に行動する子
 ・健康な子ども 健康な体をつくり、強い意志を持ち、さわやかにあいさつする子
 (今年度の重点目標)

経営方針

・「開かれた学校」を学校経営の基本に置き、内部においては報告・連絡・相談を密に行い、家庭や地域に向けては分かりやすい情報発信に努める。
 ・特別支援教育の充実を力を入れ、児童一人一人の特性を丁寧にみつめ、全ての児童のニーズに応じた指導を行う。全職員、保護者、地域、関係諸機関との連携を密にとり、効果的に児童の育成に努める。

今年度の重点

・「小中一貫教育の推進」「特別支援教育のさらなる充実」「地域の教育力を活用し、地域と一体となって進める教育活動」の3つを重点とし、特に力を入れて取り組む。
 ・あきる野市の研究推進指定校として、増戸中学校と一緒に小中一貫教育のあり方を追究する。

本校は、特別支援教育コーディネーターを中心に、学級担任と特別支援学級(通級)担任、スクールカウンセラーが連携・協力し、保護者と密に話し合い、外部機関との連携に努めながら、個に応じた教育を充実させています。

また、横沢入の里山自然体験や稲作体験学習、学校農園を活用したのらぼう栽培など、地域の自然を生かし、地域の方々との交流を通して、地域に根ざした伝統・文化教育を推進しています。

草花小学校



校長 浅原 伸行
副校長 永曾 久美子

教育目標
 ・海のように大きな心
 ・太陽のように輝く自分
 ・大地のようにたくましく

学校経営方針

「かかわって つながる」
 ~コミュニケーション能力の育成~

学校・家庭・地域
 そして中心となる子どもたち

学校

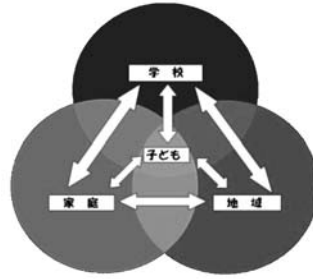
一人一人が主体的にコミュニケーションできる児童の育成

家庭

保護者同士のコミュニケーション・地域とのコミュニケーションの和の拡大

地域

この地域を愛し、家庭・地域とともに進める草花小の教育



1. 授業の中で、少人数及びグループでの話し合いの時間を積極的に取り入れ、コミュニケーション能力の育成を図っています。
2. 地域の皆様のご尽力による登下校の見守りや学校の教育活動に対するご協力への感謝の気持ちをこめて、9月14日に「祖父母参観」を実施します。
3. 特別支援学級の「ふたば学級」があるおかげで、豊かな人間理解教育活動が展開できています。

学校が地域の「おらが学校」として信頼され、多くの人から愛され、誇りをもたれる学校として存在できるよう、教職員一丸となって教育活動をして参ります。

五日市小学校



校長 篠原 敬子
副校長 中島 靖二

教育目標

自分で考える子
 進んで人とかがわる子
 最後までやりとげる子

学校経営方針

小五小統合プロジェクトの推進

小宮小学校との統合まであと1年、今年度の最重要課題として、児童、教職員、地域と様々な交流を通じた教育活動を推進していきます。

当たり前のことを丁寧に教えて子どもが輝く五日市小
 活気と魅力があふれる学校
 信頼される学校
 規律と品格のある子ども
 授業力を磨く教師集団
 組織的な学校運営

本校では全教職員の英知を集結して知育・徳育・体育・芸術・勤労のバランスの取れた児童の育成を全力で目指します。

開校明治6年。校長室には歴代の校長先生の写真がずらりと並び、五日市小学校の発展を静かに見守っています。また、廊下や教材室には明治時代からの卒業写真が並び、歴史の重さを感じられます。

由緒ある木々に囲まれた校庭に響き渡る鼓笛隊の演奏は、50年以上の輝かしい歴史を刻んでいます。五日市小学校は全市に先駆けて平成18年度より「祖父母参観日」を設け、大好評を得ています。輝く伝統に支えられ、地域に愛される落ち着いた学校です。

中学校

東 中 学 校



校長 副校長
曾我 有二 高島 昇

東中学校の全校生徒524名は、大切な各家庭からお預かりした、宝でありダイヤモンドの原石です。地球上で一番硬いダイヤモンドはダイヤモンドで磨かれて初めて輝きます。東中の教育に置き換えて言いますと、仲間と切磋琢磨して磨き上げる同級生、先輩後輩、全力で生徒の指導と支援にあたる教職員、学校と協力・連携して共に生徒を磨いていただける保護者・地域の方々や関係諸機関の方々も、もちろんダイヤモンドです。東中の生徒は、自信と誇りをもって自分を磨き、さらに、家庭・地域からの厚い信頼のもと、一段と輝きを増して、充実した3年間を過ごし、巣立っていくことができる中学校を目指します。

「生徒が育ち、生徒が輝く、東中の教育」です。応援・ご協力よろ

教育目標（目指す生徒像）

社会の変化に対応できる 心身ともに健全な 社会人の育成をめざして

よく考え最後までやりぬく人
豊かな心をもち思いやりのある人
常に自分を高めようと努力し創造力のある人

めざす学校像 「自信と誇りと信頼の東中学校」（キャッチフレーズ）

生きがいと行きがいにあふれ、基礎的な学力・体力の習得のために、真に学びあがある東中学校
自信にあふれ、自ら進路をたくましく実現するために最後まで努力する生徒たちであふれる東中学校
毎日が安全で安心して生活でき、理想や正義や夢を思いやりをもちながら語りあえる東中学校
保護者や地域から誇りと信頼のある地域教育の核となる東中学校

東中は開校より来年度で40周年となりますが、当時より生徒は活気とエネルギーに溢れ充実した学校生活を送っています。教職員も生徒を第一に考え熱心で主体性をもって教育活動を行っています。地域も学校教育に全面的に協力してくださり、その底力は大きなものがあります。

PTA活動が活発です。毎月の校外防犯パトロール及び朝の登校安全指導、サークル活動の一例として「おやじの会」による「大人が手本の啓発活動」、学校花壇づくり、地域清掃ボランティア等々行っています。

PTAだけでなく、生徒も教職員も一緒になって取り組んでいます。PTAのOBによる「東雲会（しのめかい）」も長い伝統があり学校教育を支援していただいています。東中は、運動部、文化部ともに活動が盛んで明るく元気一杯な生徒で溢れています。また、特別支援学級の生徒は青梅マラソンに参加しています。毎年、市の作品展にも立派な作品を出品しています。

御 堂 中 学 校



校長 副校長
山崎 雅司 村田 晃彦

- (1) 分かる授業の一層の推進と知識の活用を身につけさせ、学習意欲の向上を目指します。また、家庭学習を習慣化させるための実践を進めていきます。
- (2) 教育相談部を中心に、生徒の心のケアや不登校生徒への指導をスクールカウンセラーとともに組織的な相談活動を行い、いじめ・不登校ゼロを目指します。
- (3) 一人ひとりの生徒の期待に応えるために、特別支援教育を組織的に推進します。
- (4) 学区小学校と連携し、保護者、地域の方々の協力を得ながら、9年間を見通した教育活動をすすめ、生徒の持つ可能性を最大限に発揮させま

教育目標（目指す生徒像）

人権尊重の精神を基調とし、自主・自立、真理の探究の精神に富み、心豊かでたくましい生徒を育成するため次のように教育目標を掲げています。

- ・自ら学び自ら考え実行する生徒（自主）
- ・理想に向かって向上努力する生徒（努力）
- ・美しい心たくましい体の生徒（健康）

本校は、草花丘陵を背に、南に平井川、西に遠く奥多摩の山々を望む自然環境に恵まれた地域です。保護者・地域の方々には本校の教育に大きな期待を寄せ大変協力的です。

生徒は、明るく素直で授業や部活動に熱心に取り組んでいます。生徒会ではより良い人間関係づくりを目指して、「あいさつは御堂の顔」をスローガンに取り組んでいます。また、生徒会活動による環境への意識を高めるために今年度も「もったいない運動」に継続して取り組みます。また、「太陽光発電」を活用した環境教育のさらなる推進を行います。

五 日 市 中 学 校



校長 副校長
加藤 高明 守屋 和広

本校は、長い歴史と伝統をもち、地域の住民と保護者にささえられ充実・発展してきました。現在もこの伝統・歴史をふまえ、学校・地域・保護者が三位一体となり教育活動を進めているのが特色です。

教育目標（目指す生徒像）

- ・よく考えて行動する生徒
- ・進んで協力する生徒
- ・思いやりのある生徒
- ・心身ともに健康な生徒

経営目標

めざす生徒像

- ・自ら光り輝く基礎学力を身に付けた生徒

めざす教職員像

- ・生徒のよさを引き出し、素質・才能を開花させることに生きがいを覚え、五中生への愛情は誰にも負けない誇りと確かな授業力を身に付け、尚かつ良質な教育を提供し続ける光り輝く教職員

めざす学校像

- ・生徒が明日の登校を楽しみにし、教職員が指導に喜びを抱き、地域から「あの学校は地域の誇りだ」といわれ得る地域に光り輝く学校

本校は伝統と歴史と豊かな自然環境に恵まれ、生徒は充実した中学校生活を日々送っています。勉強（少人数授業等）や部活動、特別支援学級の活動と通常学級との交流、ガードレール清掃等の様々なボランティア活動、活発な学校行事（運動会や音楽会）、地域行事への参加（中学生御輿）等が学校と地域・保護者の協力のもとに行われ、より高い教育成果を指向し、その成果は各方面に表れています。

学校紹介

秋多中学校



校長
佐藤 敏数



副校長
渡辺 暁

学校教育目標

いのちの尊さを深く自覚し、たくましく生き、進んで社会の発展に尽くす人を目指して
豊かな心をもつ
たくましい体をつくる
しなやかな個性を磨く

目指す学校像

学力の確実な定着と健康増進及び体力の向上を図り、豊かな体験活動を通して個性と想像力を伸ばし、生徒と教師が共に燃え、感動できる学校を目指します。

生徒は明るく意欲的で、落ち着いて授業に取り組んでいます。保護者や地域の方々は学校に協力的でPTA活動も活発に行われています。

秋多中の学校生活は、朝の気持ちの良い挨拶と始業前の10分間朝読書に始まり、放課後の活発な部活動で一日が終わります。

特色ある教育活動は「いのちを尊ぶ教育」を柱に道徳や総合的な学習の時間を通して豊かな心を育成します。また、国語や数学、英語では少人数指導で授業を行い、学力の確実な定着と学力向上を目指しています。さらに、近年の子供の体力低下を受け、体育では授業内容を工夫するなど体力・運動能力の向上を図るよう努めています。

西中学校



校長
山形 正則



副校長
川杉 稔

教育目標（目指す生徒像）

- ・学校目標にある「本気」「元気」「根気」を合言葉に、思いやりと規律と活力のある学校を目指しています。
- ・「思いやりの心を育む教育」を中心に据え、コスモス街道の整備や都立あきる野学園との交流を通して、教育実践を行います。
- ・「基礎・基本の充実」を重点課題とし、国語・数学の少人数指導等による「学力の基礎・基本」の定着、部活動や行事による「生活の基礎・基本」、障がいのある方たちとの交流による「心の基礎・基本」の充実を図っていきます。
- ・今年度と来年度の2カ年で、西秋留小学校と一の谷小学校を含めた3校で「小中連携」の研究に取り組みます。児童・生徒を9年間の尺度でとらえ、スムーズな中学校生活を始められる研究成果を目指します。

あきる野市のほぼ中央に位置し、周囲を、都立あきる野学園、西多摩養育支援センター、富士通そして野菜やクリの畑に囲まれた学校です。春には桜が、秋にはコスモスが美しく咲いているのを窓から望むことができます。また、平成21年度に情緒障がい対象の特別支援学級を開級しました。学区内小学校・都立あきる野学園との連携を更に強化し、あきる野市の特別支援教育の充実に努めています。

すばらしい教育環境の中で、生徒は知・徳・体をバランスよく学んでいる学校です。「知」の面では、各教科の学習をはじめ、朝読書をおとした理解力と表現力の充実に真剣に取り組んでいます。「徳」の育成面では、行事や総合的な学習の時間を中心にしたコスモス街道の整備や障がいのある人との交流・体験を通して、「思いやりの心」をしっかりと培っています。「体」の面では、体育大会や行事に積極的に取り組み、強く美しい競技・演技を目指しています。ラジオ体操の美しさは日本一です。また、多くの部活動で東京都のトップレベルの成績を目指しています。

増戸中学校



校長
田島 弘之



副校長
山本 芳安

- ### 教育目標
- ・夢を持ち続ける人
 - ・進んで努力する人
 - ・思いやりのある人

より質の高い教育を提供するために

- ・基礎・基本の確実な定着
- ・規律・規範意識の醸成

本校の教育目標に掲げた「夢を持ち続ける人」「進んで努力する人」「思いやりのある人」は、混沌とした社会を乗り切っていくための指針となっています。

将来が不透明な現代にあって、よりよい人生を送ることができるように、「どこへ行ってもやっていける人間」の育成を目指していきます。

本校は、豊かな自然に囲まれています。生徒は明るく素直であり、落ち着いた学校生活の中で、学習や部活動に取り組んでいます。今年度は、数学・英語において、少人数指導を行っています。また、平成24年度学習指導要領の完全実施を視野に入れ、基礎・基本の定着を目指して、学校として選択教科を設定しています。さらに、「総合的な学習の時間」の名称を「未来科」とし、1年では「自己探求」、2年では「自己開拓」、3年では「自己実現」という目標を掲げ、「未来像を描き、協同して実現に向かう人間の育成」を目指しています。

学区においては1小学校、1中学校であるため、平成22・23年度は、市の研究推進校として増戸小学校とともに、小中一貫教育の視点に立ち、研究を進めてまいり、今年度は発表の年となりました。

今後も、保護者・地域からご協力、ご支援をいただきながら、「生徒、保護者・地域、教職員にとって、誇れる学校」づくりを推進していきます。

前田小学校が「子供の体力向上推進優秀校」として表彰されました

前田小学校は、平成21年度から東京都スポーツ教育推進校の指定を受け、子供の体力向上に取り組んでいます。週20時間の体育講師とのチームティーチングによる体育の授業、スポーツテストの実施と結果の活用、中休みにおけるスポーツタイムの年間を通しての実施、トップアスリートを招いてのスポーツ教室の開催、体育遊具の購入と整備等の取組を行っています。このような取組が評価され、東京都教育委員会から「子供の体力向上推進優秀校」として表彰され、平成23年3月25日に宮林教育長から前田小学校竹川校長に賞状が贈られました。



てくてくあきる野

むかし発見!

第17話「夜空に響きわたれお囃子の調べへ!」

例年3月末ごろになると、文化財係にはお囃子や獅子舞が出演する祭りの場所や日時に関する問い合わせが多く寄せられます。このため、係では数年前から各団体の出演する祭りやイベントの情報を、市のホームページに掲載しています。しかし、今年は東日本大震災の影響で、春の祭礼への出演が中止となるケースが多く見られました。



お囃子や獅子舞のファンの人たちにとっては残念なことでした。

今回は、お囃子の大好きな人はもとより、あまり芸能に關心の無い人たちにも是非知

って頂き、てくてく足を運んでいただきたい情報です。その前に、あきる野市内のお囃子についてちよつと触れておきましょう。市内には、獅子舞、神楽、お囃子など様々な伝統芸能があり、それらを継承し保存する39の団体が連合会組織をつくって、他の

団体との関係を密に保存継承に努力しています。39の加盟団体の内、お囃子を保存するのは29団体です。市内のお囃子には大きく神田囃子の流れをくむものと、重松流囃子の流れをくむものがあります。共に明治の初め頃に市域に伝えられたと考えられています。神田囃子は、引田地域をはじめ、留原や五日市地域で継承されています。重松流囃子は、二宮、野辺、草花、森山、雨間、伊奈の地域で継承されています。

昨年は重松流祭囃子の創始者である古谷重松の生誕180年にあたり、二宮考古館の企画展で重松流を継承する二宮はやし連の活動の様子を取り上げました。明治の初め頃に二宮の地に伝えられた重松流囃子が、100年以上たつた今もこの地域の人たちによって守り受け継がれています。祭りでの華やかな芸能の陰には、子供から大人までが

毎週練習に励むなどの地道な努力があり、それによって地域の伝統文化が継承されているわけです。

最後に、囃子に使われる楽器について簡単にご紹介します。まず締め太鼓があり、これは2つの太鼓からなり、高音と低音を出します。またやや大きめの太鼓があり、長胴と呼びます。それと全体をリードする笛、軽快に調子をとる鉦で構成され、全体で5人により奏でられます。この演奏に合わせておかめやひよつとなどが踊ります。

ちよつとまだ早いかもかもしれませんが、今年も秋川駅前北口大通り使って8月6日土に「あきる野夏まつり」が行われる予定です。春祭りで見ることができなかったお囃子を、一堂に見ることができるといってもいいかもしれません。夏の暑い盛りになるかと思いますが、ぜひ伝統文化を守り続ける各団体の姿を間近に見ていただきたいと思えます。小さな子供たちには大切な発表の場でもあり、かわいらしいおかめやひよつとこの姿も見ることでできます。

夏の夜空に響き渡る笛や太鼓の音色が多くの人たちに元気を与えてくれることは間違いありません。

スポーツ祭東京2013 (第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会)の開催について

2013年(平成25年)、東京都では54年ぶりとなる第68回国民体育大会と、今初めてとなる第13回全国障害者スポーツ大会が開催されます。

あきる野市では、第68回国民体育大会における自転車競技(ロードレース)、馬術競技(ソフトボール競技(少年女子)の3競技が開催されます。今後、あきる野市については、競技会の成功に向け諸準備を進めるとともに、全国から訪れる選手団、応援団等を市全体で迎え入れる機運の醸成に努めてまいります。

市内開催競技及び会場など

- 自転車(ロードレース) 競技会会期:平成25年9月29日
- 競技会場施設:特設ロードレースコース(八王子市・あきる野市・檜原村・奥多摩町)馬術(全種別) 競技会会期:未定
- 競技会場施設:特設馬術競技場(秋川高等学校跡地) ソフトボール(少年女子) 競技会会期:平成25年9月29日
- 競技会場施設:あきる野市民球場及び市民運動広場 連絡先 国体推進室(0425320223)